



「努力はたし算、協力はかけ算」

2学期の始業式に全校児童に次のような話をしました。

…前略…



今日は、「努力はたし算、協力はかけ算」という話をします。夏休み中に開かれていたオリンピックや全国高校野球、パラリンピック等での感動の場面を思い浮かべたり、新聞やテレビで紹介された選手の苦労話を参考にしたりしながら聞いてください。

努力は、一つ一つ足していくものです。毎日2つずつ3日がんばれば、 $2+2+2$ で6になります。努力の成果は、なかなか目に見えませんが、紙一枚の薄さも、重なれば本の厚さになるように、**努力は決して無駄にはなりません**。努力は、すればするほど積み重なり、たし算のように大きくなります。小さな努力を続けると大きな力になります。漢字を覚えるのが苦手な人、計算が苦手な人、話すことが苦手な人、給食の好き嫌いがある人、走るのが苦手な人、ちょっと努力をしてみませんか？でも一つだけ大切なことは、毎日こつこつ一歩ずつ努力を続けることです。そのためには、我慢して途中でやめたくなる弱い自分に負けない心が大切です。

「協力はかけ算」です。かけ算は、たし算より大きな結果になることがあります。

例えば、3人が2ずつがんばれば、 $2\times 2\times 2$ で8になります。でも、 $2\times 2\times 0$ の答えは「0」です。かけ算は、1つでも「0」があるとその結果は、「0」になってしまいます。みんなで何かをするときには、「協力」が必要です。**「協力」をしない人は「0」の人です。みんなで協力して何かをしようとしているときに、一人でも協力しない人がいれば結果は「0」になってしまいます。**協力しない人は、例えば、チームで縄跳びをしているときに、失敗した人をけなしたり、やじったりする人のことです。また、授業中に間違った答えを言った人を笑ったり、馬鹿にしたりする人のことです。失敗した人や間違った答えを言った人は「0」の人ではありません。それをけなしたり、笑ったりする人が「0」の人です。

学校はみんなで遊んだり、勉強したりするところです。ですからすべて「協力」が必要です。一人でも「0」の人がいればいい結果はできません。授業もうまく進みません。失敗したり間違ったりしても、「がんばれ！」「どんまい どんまい」と励ましたりする人になってください。

「努力はたし算、協力はかけ算」そして、努力するのも協力するのも皆さん一人一人です。がんばりましょう！

9月・10月前半の主な行事

9/3(月)	元気モリモリの日、給食開始、身体測定(中)	10日(月)	スクールカウンセラー来校
4日(火)	身体測定(低)、不審者対応訓練	11日(火)	学年のつどい(2,4,6年)
5日(水)	集団下校、校納金振替日	13日(木)	Eタイム、5年宿泊訓練説明会
6日(木)	読書タイム	18日(火)	学年の集い(1,3,5年)、月例テスト(2,4,6年)
7日(金)	委員会活動	19日(水)	体力テスト(高)、集団下校
8日(土)	PTA委員会、愛校活動	20日(木)	体力テスト(中)、さわやかトーク

